

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月 5日 更新

事務事業名		新しい公共の場づくりのためのモデル事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	14 市民参画によるまちづくりの推進					所属課	まちづくり戦略室	担当者名	太田徹
	基本事業	42 地域づくり(まちづくり)活動機会の確保					所属班	戦略班	(内線)	1232
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11563	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 23 ~ 25 年度) ☒ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本県新しい公共支援事業の実施要項により、「合志あぐっと！村」運営協議会と合志市が協働で実施する「食と農を大切に市民コミュニティの形成事業」を平成23年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業として企画提案を行い、提案が採択されたため、県からの100%補助を受け実施する。実施期間は平成23年度～平成24年度までの2年間で、協働事業として、初年度に事業環境の整備を主に行い、その他に人材育成研修やイベント事業を行う。次年度は継続事業として、主に人材育成研修やイベント事業を行う。
【業務の流れ】	合志市は補助金申請を行い県補助金を受入れる。その後、事業環境づくりとして基盤整備のための備品購入を行い、「合志あぐっと！村」運営協議会に無償貸与する。また人材育成のための研修コース開発とICT構築のためのコンテンツ作成については、「合志あぐっと！村」運営協議会に委託する。
【主な予算費目】	委託料、備品購入費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	「合志あぐっと！村」運営協議会の会員等の関係者からは期待する声が多い。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO) ICT情報発信基地としてスタジオ備品を購入。「合志あぐっと！村」運営協議会へ委託して、人材育成を目的とした住民ディレクターにより地域情報番組作りと、セルフブランディング講座、ICT活用講座などの研修事業を実施。また地域交流事業として農家バス見学会を実施。		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 「合志あぐっと！村」運営協議会の事業に対して人的な活動支援を行なう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア ☆☆☆ 指標名が未入力です。指標名を入力してください ☆☆☆ イ ☆☆☆ 指標名が未入力です。指標名を入力してください ☆☆☆		合志あぐっと！村運営協議会の自立運営に伴う事業費の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民(農家・消費者)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア ☆☆☆ 指標名が未入力です。指標名を入力してください ☆☆☆ イ ☆☆☆ 指標名が未入力です。指標名を入力してください ☆☆☆
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	まちづくり情報の受発信ができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア ☆☆☆ 指標名が未入力です。指標名を入力してください ☆☆☆ イ ☆☆☆ 指標名が未入力です。指標名を入力してください ☆☆☆
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～25年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		5,577	2,000	1,983			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円				1	98		
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円		5,577	2,000	1,984	98		
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	2	0		
		延べ業務時間	時間		924	500	830	0		
		(B) 人件費計	千円		3,731	2,019	3,378	0		
	トータルコスト(A)+(B)		千円		9,308	4,019	5,362	98		

事務事業名	新しい公共の場づくりのためのモデル事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	---------------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 全国デジタルコンテンツオブイヤー2012「リージョナル賞」、全国活力協働まちづくり推進団体「グランプリ」、熊本県農業コンクール「食農部門」優良賞等を受賞することができ、国民からの取り組みに対する評価を得ることができた。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成25年度備品購入（テント）を行い、貸与するが、それ以降の活動は協議会で自走となる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 市の事業取り組みとして、協議会の組織づくりと活動スタートアップの支援であり、協議会が自走を始めたので、支援は終了するが、更なる活動資金の支援により事業を拡大加速させることはできる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 現時点では、同様の組織がないため、協議会に活動を委ねるが、市の外郭団体で農業・観光・商業など多方面にわたり情報発信を行い、さらに人材育成や収益活動を行うような組織ができれば統合もできる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県の補助事業の枠内の活動であり、平成25年度のみ最低限活動に必要な備品のみをで計上している。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 協議会で自走しており、市の労務管理は終了した。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 協議会は協働している団体と市民のために活動しているので、協議会が受益を受けることは、すなわち市民に情報サービスとして還元されている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政は協議会の事務局として、組織の活動の方向性及び活動資金の適正な運用を管理しており役割は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☒廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

平成25年度より農政課に事務を移行しているため当課では事業廃止となる。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下	○		

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策